

■ 地域連携センター運営委員会 ■

地域連携センター運営委員会は、平成20年4月に地域連携センターの新設に伴い、同年5月に設置されました。その設置の目的は、「市立札幌病院と地域医療機関の医療連携の充実と機能分担の促進並びに地域医療の充実・発展に資するため、医療連携に関する事項の院内運営の調整と登録医療機関との調整などに係る必要な事項を定める」ことと設置要領に謳われています。

委員会は奇数月の第3火曜日に開催され、事務局4名を含め総勢25名が目的達成に向けて熱い討議を繰り広げています。毎回、「紹介患者状況」「地域連携パス使用状況」「看護相談係稼働状況」「広報誌かざぐるま編集内容」についての報告・決議がなされます。

今年度は、市立札幌病院新パワーアッププランのひとつであります、「地域医療支援病院」取得に向けて紹介率・逆紹介率アップ対策に重点的に取り組んでおります。限られたマンパワーの中、いかに効率的に活動していくか委員全員が一丸となり計画を練り実践に向けて努力しているところです。

まずは、院内における連携を強化して「地域完結型医療推進」の考え方を浸透していくこと、そして現在当院と連携してくださっています630の医療機関と、より密度の濃い連携を構築していくことを目標としています。

今後も、院内・院外の医療連携が円滑に進むように活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【平成23年度委員】

委員長：富樫正樹（副院長・地域連携センター長）

委員：加藤法喜（理事）、江本功（経営管理部長）、西川秀司（消化器内科部長）、向井正也（リウマチ・血液内科部長）、柳澤克之（糖尿病内分泌内科部長）、三澤一仁（外科部長）、佐久間隆（整形外科部長）、瀧上真良（脳神経外科部長）、田中明彦（呼吸器外科部長）、今泉寛子（眼科部長）、牧瀬博（救命救急センター部長）、高橋義人（静療院精神科医長）高木日登美（看護部病棟担当課長）、鈴木久子（看護部外来担当課長）、音喜多香二（総務課長）、中島克典（医事課長）、佐藤亜紀（10階西病棟看護師長）、五十嵐千尋（7階西病棟副看護師長）、村上由美子（2階外来副看護師長）、大澤晶人（静療院指導相談課医療相談担当係長）

事務局：斉藤容子（地域連携センター課長）、田辺久美子（看護相談担当係長）、長田千穂（地域連携係長）、三上貴弘（地域連携係）



ときには、笑顔で会議が進みます。